

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

インターハイ通算で7冠の快挙！



8月26日、末吉高校カヌー部の山下光希さんが市長室を訪れ、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）でのスプリントカヤックシングル200㍍で優勝したことからその報告がありました。

大会は、京都府京丹後市久美浜湾カヌー会場で8月4日から8日にわたって行われ、山下さんは最初に出場した500㍍シングルで転覆し、勝たないといけないプレッシャーの中でそのリベンジを誓い、見事栄冠を勝ち取りました。この優勝でインターハイ通算7冠という快挙を達成されました。

話を聞くと「転覆した事で200㍍に出場する前は凄く怖かったが、家族や周りの方の支えで気を取り直してレースに挑む事が出来ました。」と話されました。当面の目標は、国体で優勝する事だそうです。

車イスがピカピカに



9月5日、曾於第6団ボーイスカウト隊が末吉岩南地区にある特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」で車イス磨きの奉仕活動を行いました。

この車イス磨き奉仕活動は、毎年敬老の日の頃に行っているもので、今年で27回目を数えます。当日は、スカウトと指導者が車イス約30台の清掃にとりかかり、1台ずつ磨きあげていきました。

参加したスカウトからは、「きれいになった車イスをおじいさん、おばあさんに気持ち良く使ってもらいたい」と満足した声が聞かれました。

ボーイスカウトでは、仲間を広く募集しています。小学校1年生から高校生までどなたでも入隊可能です。

入隊のご案内は曾於第6団ブログでも(<http://scout-bento.at.webbry.info/>) 公開していますので、是非ご覧ください。

環境保全活動と史跡めぐり



8月2日、東部公民館主催の大淀川クリーン作戦と銘打った地区のゴミ拾いと史跡巡りに地域住民の大人や小・中学生など約100名が参加して行われました。

大淀川の両堤防及び県道の沿線を宮崎県境から陣之下橋までの間を、空き缶類ゴミを仕分けして拾い、それが軽トラック2台分もありすっかり綺麗になりました。

その後、地元の史跡を子供達にも知ってもらおうと、地元の郷土史家3名による平季基の墓や武家屋敷門など7ヶ所の説明があり、子供達はパンフレットを片手に熱心にメモをとるなど、説明に聞き入っていました。

公民館長の宮路茂雄さんは、「地元の歴史を若い世代にももっと知ってもらおうと、毎年続けていきたい」と話されました。

3つの約束で大きく成長



8月24日、昨年度トップアスリート派遣指導事業で2回ご指導頂いた元全日本ソフトボール監督の宇津木妙子さんが子供達と再会したいとのことで大隅総合グラウンドにお見えになり、ソフトボール交流大会が開催されました。

この催しは、曾於市内の6校と曾於地区内2校の総勢90名の小・中学生が参加し、交流試合をしながら再び宇津木監督の指導を受けました。

今回は、監督と一緒に岩川小学校出身で現在ルネサンス高崎に所属の山下^{あや}純選手も参加し、ピッチングのデモンストレーションも披露してくれました。会場からは実業団の選手の球の速さに歓声が沸きあがっていました。

宇津木さんは、昨年曾於地区内の学校を指導して回りましたが、今回は、プライベートでぜひ子供達と再会したいという事でこの大会が実現しました。

挨拶の中で、「ソフトボールを通じてたくさんの人と関わり、たくさんの事を学んでください。どんな事でも夢に向かってチャレンジする気持ちをいつも持って歩んでください。」とおっしゃいました。

子供達を代表して挨拶を述べた岩南小学校の早崎伸之介君は、「監督に教えて貰った3つの約束 1. グラウンドでは大きな声を出す。2. 人の話は目を見て聞く。3. グラウンドでは一生懸命走り回る。の事をいつも心に持ち頑張ってきました。監督と再会して本当にうれしいです。僕達がどう変わったか見てください。」と述べました。

宇津木監督との出会いがきっかけでたくさんの子供達が大きく成長してくれたように感じました。



水に親しもう



8月16日、末吉町新町鹿児島ユービ社跡地で子どもコイ・マスつかみどり大会が幼児から中学3年生まで約60名の子ども達が参加して開催されました。

この催しは、内水面漁業協同組合が毎年企画しているもので、子ども達に川やそこにすむ生き物に馴れ親しんでほしい事を目的に開催したものです。

当日は、夏らしく晴れわたったとても暑い日で、冷たいプールに入れられたコイ・マスを子ども達は、歓声をあげながら一生懸命追いかけて回っていました。

夏休みを利用してお爺ちゃんの家滞りし、これに参加した福岡の小学3年生大和屋菜巴さんは、「プールの中はとても気持ちよかったけど、魚を追いかけて目が回りそうでした。夏休みの楽しい思い出の一つになり良かったです。」と笑顔で話してくれました。

道路愛護知事表彰受賞



8月28日、市長室で大隅のボランティア団体「ピュアやごろう（代表 高 久男さん）」が、道路愛護知事表彰を受賞したことの報告にと市役所を訪問しました。

この表彰は、長年道路の美化清掃に努め、その実績が顕著な民間の団体又は個人に贈るもので、「ピュアやごろう」は、平成16年に設立し、5年間に渡りふるさと道サポーターとして2ヶ月に1回、交通量の多い県道志布志福山線の清掃活動を行っていて、ドライバーに対し快適に走行できる環境を提供してくれたことを評価されての受賞です。

鹿児島大学学友会管弦楽団



8月5日、曾於市末吉総合センターで鹿児島大学学友会によるふれあいコンサートが開催されました。

この楽団は、鹿児島大学の学生、教員、職員のメンバーを中心とするアマチュアオーケストラで、年間の活動として夏冬の定期演奏会や夏季休暇を利用した県内各地での音楽鑑賞会、学内の式典演奏などを行っているそうです。

当日は、壮大な音楽の音色と楽しげでリズムカルな音楽など、会場の観客は、手拍子をしたりじっと聞き入ったり、プロ顔負けの意気の合った演奏に会場全体が魅了されていました。

ストップ 振り込め詐欺



9月7日、大隅町Aコープ岩川店駐車場で振り込め詐欺撲滅キャンペーン（とり木作戦）が行われました。

このキャンペーンには、地域安全モニター5名、青色パトロール隊（あけぼの見守り隊）5名、JAそお鹿児島職員の15名が参加し、買い物客に振り込め詐欺被害防止啓発のちらしを配布しました。

曾於市内でも人事ではなく、昨年2件（被害額74万円）、今年に入っても1件（被害額198万円）の報告があるそうです。

県内警察では、詐欺にあわない防止策として、1. 家族で合言葉を決める。2. 騙されたふりをして警察に連絡する。といった2つの約束をキャッチフレーズに撲滅に取り組んでいるそうです。

日頃からの防災・救急意識の高揚を



9月5日、松山町城山総合公園で、約200名の消防団員等が参加した、曾於地区総合防災訓練が開催されました。

この訓練は、大規模災害等が発生した際、防災関係機関が相互に連携を持ちながら、それぞれの施設及び人員が能力を最大限に発揮し、迅速且つ適切な防災体制を確立する事を目的としています。

当日は、大隅半島を震源とする強い地震により、火災、崖崩れ、家屋の倒壊等の複数の災害が発生したとの想定での訓練が行われました。

参加した隊員達は、それぞれの役割をきびきびとそして真剣に取り組んでいました。

このような取組みが、住民に防災・救急意識を高めるきっかけになればいいですね。

みんなの財産 みんなで守ろう



9月5日、大隅建設協同組合・県土改連・曾於地区測量設計業協議会・県職員・市職員・大隅南地域環境保全協議会の皆さん約110名が、ボランティアで大隅南地区調整池の草払いを行いました。

この施設は、地域の排水対策として平成20年度まで5年をかけて県営シラス対策事業で整備されたものです。

当日は、早朝から草刈機や重機で作業が行われると、約2時間後にはすっかりきれいになり、環境保全協議会会長の竹元さんから「たくさんのご協力で見違えるようになりました。これからもみんなの財産として大切に管理していきます。」とお礼のことばがありました。

切れます、まかせて



8月30日、Aコープ末吉店裏駐車場で、宮崎県建産労都城支部末吉分会の皆さんが、「ふれあい 住宅デー」を開催しました。

この催しは、毎年8月末にボランティア活動として行っているもので、家庭で古くて切れの悪くなった包丁や、かま、ナタ、選定バサミなどを研いで新品同様によみがえらせる活動をするものです。

刃物の中には、歯の折れた物、赤くさびた物など多数ありましたが、職人の方々が汗をかきながら、一生懸命作業をし、分会の方々も協力して研磨し、最後に塗装仕上げまですると、お客さんからは「おいげんとかよ」という声も飛び交っていました。

同分会の原田一公会長は、「これからも末吉分会として地域に貢献していきたい」と話されました。

見に来てください。私たちの絵を



末吉町の深川小学校(児童数61人、上園隆一校長)は、本年度も校区内の「道の駅すえよし」で児童画展を開催しています。

昨年もこれを開催していますが、今年もやる気いっぱいで図工の時間に取り組み、力作揃いのようです。今年は、9月5日(土)から10月4日(日)までと10月5日(月)から11月4日(水)まで2回に分けて61名全員の絵画を展示します。さらに、絵画への取り組みとして、「100人テント絵」に挑戦し、400×600cmのテント地に自分の夢を叶えた20年後の姿を絵に描きます。先生方や保護者、地域の方々も協力して100体以上の絵を12月末までに体育館の壁に常掲する計画。順調に準備が進んで、今下絵に取り組んでおり、子どもたちもどんな作品になるか楽しみにしています。

宝くじの助成金で音響機材を整備



平成21年度コミュニティ助成事業により、吉ヶ谷自治会(財部)に音響機材を整備しました。

この事業は、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、財団法人自治総合センターが、コミュニティ活動に直接必要な施設または設備の整備を支援しています。

この音響機材は、今後自治会が主催する様々なイベントに活用されます。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。